

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
生活文化学科	食物栄養専攻	夜・通信			8	8	7	
	生活文化専攻	夜・通信			7	7	7	
幼児教育学科第1部		夜・通信			34	34	7	
幼児教育学科第3部		夜・通信			39	39	10	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【資料1】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事業報告書（令和4年度）【資料2】 http://www.adachi-gakuen.ed.jp/public.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	企業取締役	令和4年8月10日～令和9年8月9日	財務、人事、経営計画 等法人全般
非常勤	企業取締役社長	令和3年6月1日～令和5年11月30日	財務、人事、経営計画 等法人全般
非常勤	金融機関執行役員	令和4年8月10日～令和9年8月9日	財務、人事、経営計画 等法人全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って作成したシラバスは、すべての科目について「学習成果」、「授業方法」、「成績評価の基準」「DP との関連」などを明記し、卒業するために到達すべき目標が学生に理解できるよう、本学 HP に掲載し、公表している。</p> <p>また、履修案内において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学科と学習成果の関係を示すカリキュラムツリー ・各学科、専攻やコースの科目一覧となるカリキュラム表 ・各種資格の取得となる科目 を公表している。 <p>愛知文教女子短期大学シラバス作成ガイドライン【資料3】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p> <p>シラバス【資料4】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p> <p>履修案内(刊行物)</p>	
授業計画書の公表方法	シラバス【資料4】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目は、シラバスに記載された成績評価の方法・基準(試験、報告書(レポート)、その他)による厳格かつ適正な成績審査によって、単位が授与(認定)される。</p> <p>なお、成績評価は、高い評価から順に「S」・「A」・「B」・「C」・「D」で表示され、「C」以上を合格とし、「D」の場合は、単位が認定されない。</p> <p>シラバス【資料4】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p> <p>学修の成績に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準【資料5】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標となるGPA制度を設け、学業結果を総合的に判断する指標としている。</p> <p>学生自身が学習成果や履修状況を確認するため、半期ごとの成績発表時、学生に公表する。</p> <p><GPA算出方法></p> <p>次の計算式により単位あたり平均を算出する。</p> $GPA = \frac{[GP \text{ (その科目で得た評価点)} \times \text{(科目の単位数)}] \text{ の合計}}{\text{(履修した単位数)} \text{ の合計}}$ <p>愛知文教女子短期大学成績評価規程【資料6】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p> <p>成績分布状況【添付資料(3)】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	愛知文教女子短期大学成績評価規程【資料6】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

生活文化学科、幼児教育学科においては、2年以上（幼児教育学科第3部は3年以上）在学して、卒業必修科目を含み、総単位数62単位以上（基礎科目10単位以上）を修得し、以下に掲げる資質・能力を備えた学生に卒業を認定する。

(1) 生活文化学科

〈食物栄養専攻〉

建学の精神を基に

1. 栄養士としての「プロフェッショナルリズム」、「栄養」と「食」の質と「安全」の知識・技能を有する。（知に明るい心）
 - ①栄養、調理、給食経営、衛生の知識・技能を有する
 - ②栄養士の職業倫理を理解している
2. 多様な社会と対象者をより豊かに、健康にするため、学修を生かし、主体的に連携・協働できる（和やかな心、信じ信じ合える心）
 - ①多様な社会、対象者を理解できる
 - ②栄養士の専門的知識、生活文化に関わる学修、豊かな教養を生かし「思考・判断・表現」ができる
 - ③社会人基礎力を有し、主体的に課題を解決できる
3. 常に最新の知見を学ぶ実践者（正しい心）
 - ①栄養士の生涯教育制度、地域、社会における生涯学習制度を理解し、利用できる

〈生活文化専攻〉

建学の精神を基に

1. 医療秘書又はビジネス実務の知識、技術を有する。（知識・技能）（知に明るい心）
 - ①専門的知識、技能を有する。
 - ②社会人としての必要なビジネススキルを身につけている。
2. 幅広い教養とホスピタリティの心を身につけている。（人物・人柄）（和やかな心、信じ信じ合える心）
 - ①好印象を与え、信頼される人材。
 - ②生活文化に関わる学修、豊かな教養を生かし「思考・判断・表現」ができる
 - ③ホスピタリティの心を持ち、協働して活動できる。
3. 多様な社会をより豊かにするため学び続ける人材。（正しい心）
 - ①主体的に社会に貢献できる
 - ②専門的知識と社会人基礎力、生涯学習
 - ③多様なコミュニケーション力

(2) 幼児教育学科第1部、第3部

建学の精神を基に豊かな教養を身に付け

1. 信じ信じ合える心

- ①様々な体験から達成感を高め、自分を肯定することができる
 - ②多様なバックグラウンドを持つ他者に対し、思いやることができる
2. 多様な社会をより豊かにする保育者（正しい心、和やかな心）
 - ①語彙力を高め、自分で考え自分の言葉で話すことができる
 - ②柔軟性・傾聴力・共感力・協調性などの社会人基礎力を有している
 - ③多様な社会を理解できる
 3. 学び続ける生涯保育者（知に明るい心）
 - ①専門分野における知識・技能を有し活用できる
 - ②失敗から気づき、一歩前に踏み出すことができる
 - ③保育者としてのキャリアビジョンを有する

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ディプロマポリシー【資料7】
<https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	財務情報【資料8】 http://www.adachi-gakuen.ed.jp/public.html
収支計算書又は損益計算書	財務情報【資料9】 http://www.adachi-gakuen.ed.jp/public.html
財産目録	財務情報【資料10】 http://www.adachi-gakuen.ed.jp/public.html
事業報告書	財務情報【資料11】 http://www.adachi-gakuen.ed.jp/public.html
監事による監査報告(書)	財務情報【資料12】 http://www.adachi-gakuen.ed.jp/public.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 自己点検・評価報告書【資料13】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法：教育目的・教育目標、建学の精神・教育理念・教育目標【資料 14】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information)
(概要) 「質実有為で宗教的情操を身につけた真人の育成」を建学の精神とし、昭和 2 年に足立閻 励(ぎんれい)が創設した稲沢高等女学校に端を発する。創立者は、当時社会的に弱い立 場に立たされやすい女子に対して、仏教的教育により自立と幸福を目指すという理想を掲 げて教育に尽力した。私たちはこの意志を継承し、建学の精神に基づき、教育理念、教育 目標を定め、学科ごとに教育目的・教育目標を定め、公表している。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：ディプロマポリシー【資料 7】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information)
(概要) (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 生活文化学科、幼児教育学科においては、2 年以上(幼児教育学科第 3 部は 3 年以上)在 学して、卒業必修科目を含み、総単位数 62 単位以上(基礎科目 10 単位以上)を修得し、以 下に掲げる資質・能力を備えた学生に卒業を認定する。 (1) 生活文化学科 〈食物栄養専攻〉 建学の精神を基に 1. 栄養士としての「プロフェッショナルリズム」、「栄養」と「食」の質と「安全」の 知識・技能を有する。(知に明るい心) ①栄養、調理、給食経営、衛生の知識・技能を有する ②栄養士の職業倫理を理解している 2. 多様な社会と対象者をより豊かに、健康にするため、学修を生かし、主体的に連携・ 協働できる(和やかな心、信じ信じ合える心) ①多様な社会、対象者を理解できる ②栄養士の専門的知識、生活文化に関わる学修、豊かな教養を生かし「思考・判断・ 表現」ができる ③社会人基礎力を有し、主体的に課題を解決できる 3. 常に最新の知見を学ぶ実践者(正しい心) ①栄養士の生涯教育制度、地域、社会における生涯学習制度を理解し、利用できる 〈生活文化専攻〉 建学の精神を基に 1. 医療秘書又はビジネス実務の知識、技術を有する。(知識・技能)(知に明るい心) ①専門的知識、技能を有する。 ②社会人としての必要なビジネススキルを身につけている。 2. 幅広い教養とホスピタリティの心を身につけている。 (人物・人柄)(和やかな心、信じ信じ合える心) ①好印象を与え、信頼される人材。 ②生活文化に関わる学修、豊かな教養を生かし「思考・判断・表現」ができる ③ホスピタリティの心を持ち、協働して活動できる。 3. 多様な社会をより豊かにするため学び続ける人材。(正しい心) ①主体的に社会に貢献できる ②専門的知識と社会人基礎力、生涯学習

<p>③多様なコミュニケーション力</p> <p>(2) 幼児教育学科第1部、第3部 建学の精神を基に豊かな教養を身に付け</p> <p>1. 信じ信じ合える心</p> <p>①様々な体験から達成感を高め、自分を肯定することができる</p> <p>②多様なバックグラウンドを持つ他者に対し、思いやることができる</p> <p>2. 多様な社会をより豊かにする保育者（正しい心、和やかな心）</p> <p>①語彙力を高め、自分で考え自分の言葉で話すことができる</p> <p>②柔軟性・傾聴力・共感力・協調性などの社会人基礎力を有している</p> <p>③多様な社会を理解できる</p> <p>3. 学び続ける生涯保育者（知に明るい心）</p> <p>①専門分野における知識・技能を有し活用できる</p> <p>②失敗から気づき、一歩前に踏み出すことができる</p> <p>③保育者としてのキャリアビジョンを有する</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：カリキュラムポリシー http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure) 【資料15】</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 生活文化学科 〈食物栄養専攻〉 学位授与方針に掲げる、栄養士としてのプロフェッショナリズムと知識・技能を有し、多様な社会、対象者のために学修を生かして主体的に連携、協働ができ、常に最新の知見を学ぶ実践者を育成するために、基礎科目及び専門科目を体系的に編成し授業を行う。 その学習成果を評価する。</p> <p>〈生活文化専攻〉 学位授与方針に掲げる、医療秘書又はビジネス実務の知識、技術を有し、幅広い教養とホスピタリティの心を身につけ、多様な社会をより豊かにするため学び続ける人材を育成するために、基礎科目及び専門科目を体系的に編成し授業を行う。 その学習成果を評価する。</p> <p>(2) 幼児教育学科第1部、第3部 学位授与方針に掲げる豊かな教養を基に、信じ、信じ合える心、多様な社会をより豊かにする保育者、学び続ける生涯保育者を育成するために基礎科目及び専門科目を体系的に編成し授業を行う。 その学習成果を評価する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：アドミッションポリシー http://www.ai-bunkyo.ac.jp/disclosure) 【資料16】</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 生活文化学科 〈食物栄養専攻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と健康について関心が高い人 ・栄養士の職を理解し、専門分野で力を発揮する意欲が高い人 ・これまでの「知識・技能」・「経験」をもとに、「思考・判断・表現」する力があり、「主体的」に「協働する」マインドを持つ人 <p>〈生活文化専攻〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療とホスピタリティもしくはビジネス社会について関心が高い人 ・医療事務・ビジネスの職を理解し、専門分野で力を発揮する意欲が高い人 ・高いコミュニケーション能力と専門知識や接遇スキルを学ぶ意欲が高い人 <p>(2) 幼児教育学科第1部、第3部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育・保育に強い関心を持つ人 ・温かな人間性としなやかな感性を持ち、多様な体験から学びを高める人 ・主体性、倫理観、コミュニケーション能力、高い学習意欲を持つ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：教員組織【資料 17】

<https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
生活文化学科	—	5人	4人	0人	2人	3人	14人
幼児教育学科第1部	—	5人	0人	3人	0人	0人	8人
幼児教育学科第3部	—	3人	1人	3人	0人	0人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			56人				56人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：各教員が有する学位及び業績【資料 18・補足 1】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<ul style="list-style-type: none"> ・教員相互の授業参観（年2回）を実施し、「見学報告書」を教職員が自由に閲覧することができ、各教員は、他の教員の授業を参観することにより、自身の授業改善や授業水準の維持・向上に役立てている。 ・アクティブ・ラーニングのための授業改善に向け、ルーブリック評価のさらなる定着を目指して、年間複数回の「学内研修会」を実施。 令和4（2022）年度からは、全科目においてルーブリック評価表を作成し、カリキュラム・ツリーに連なる科目の平均点を算出する体制を整えていく。 							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活文化学科	70人	21人	30%	140人	79人	56.4%	0人	0人
幼児教育学科 第1部	80人	28人	35%	160人	58人	36.3%	0人	0人
幼児教育学科 第3部	70人	39人	56%	210人	170人	81%	0人	0人
合計	220人	88人	40%	510人	307人	60.2%	0人	0人

(備考)
学校基本調査本科学生内訳表より転記【補足2】

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活文化学科	56人 (100%)	1人 (1.7%)	52人 (93%)	3人 (5.3%)
幼児教育学科 第1部	66人 (100%)	1人 (1.5%)	62人 (93.9%)	3人 (4.5%)
幼児教育学科 第3部	83人 (100%)	1人 (1%)	82人 (99%)	0人 (%)
合計	205人 (100%)	3人 (1.5%)	196人 (95.6%)	6人 (2.9%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
2022年就職実績【資料19】
<https://www.ai-bunkyo.ac.jp/career-support/#support-results>

(備考)
学校基本調査本科学生内訳表より転記【補足3】

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って作成したシラバスは、すべての科目について「学習成果」、「授業方法」、「成績評価の基準」、「DP との関連」などを明記し、卒業するために到達すべき目標が学生に理解できるよう、本学 HP に掲載し、公表している。</p> <p>また、履修案内において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学科と学習成果の関係を示すカリキュラムツリー ・各学科、専攻やコースの科目一覧となるカリキュラム表 ・各種資格の取得となる科目 を公表している。 <p>愛知文教女子短期大学シラバス作成ガイドライン【資料 3】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p> <p>シラバス【資料 4】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p> <p>履修案内（刊行物）</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>各授業科目は、シラバスに記載された成績評価の方法・基準（試験、報告書（レポート）、その他）による厳正かつ適正な成績審査によって、単位が授与（認定）される。</p> <p>生活文化学科、幼児教育学科においては、2 年以上（幼児教育学科第 3 部は 3 年以上）在学して、卒業必修科目を含み、総単位数 62 単位以上（基礎科目 10 単位以上）を修得し、ディプロマポリシーに記載されている資質・能力を備えた学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>なお、成績評価は、高い評価から順に「S」・「A」・「B」・「C」・「D」で表示され、「C」以上を合格とし、「D」の場合は、単位が認定されない。</p> <p>シラバス【資料 4】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p> <p>学修の成績に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準【資料 5】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p> <p>ディプロマポリシー【資料 7】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p>

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
生活文化学科	食物栄養専攻	62 単位	有・無	単位
	生活文化専攻	62 単位	有・無	単位
幼児教育学科 第 1 部		62 単位	有・無	単位
幼児教育学科 第 3 部		62 単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境【資料 20】 https://www.ai-bunkyo.ac.jp/outline/#outline-information</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
生活文化 学科	食物栄養 専攻	600,000 円	200,000 円	470,000 円	
	生活文化 専攻	600,000 円	200,000 円	470,000 円	
幼児教育 学科 第1部		600,000 円	200,000 円	470,000 円	
幼児教育 学科 第3部		330,000 円	200,000 円	160,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) クラスを担当するアドバイザー教員が「学生カルテ」を作成し、これをもとに学習成果の獲得状況や学習到達度の把握等に努め、学生との面談や保護者と連携を取る等、学生のサポートに当たっている。 事務職員においては、学生生活全般の指導と相談、学生寮や奨学金、学費の納入に関する相談等を総合的に支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア支援センターを中心にアドバイザーと連携し、進路決定に向けての個人進路相談、各企業説明会や求人内容に関する情報提供、受験対策として履歴書添削・面接試験模擬面接・論文添削・就職試験対策用図書を紹介・受験報告書を利用したアドバイス、入学から卒業まで継続的にキャリア支援を行う進路ガイダンスなどを実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) アドバイザーが学生の相談窓口となっており、特にアドバイザーの判断で学生相談室への連絡が必要なケース（健康の問題に関する事柄、メンタルヘルス的な事柄）については、学生相談室と連携をし、専門的に対応している。 また、入学時に健康上の留意点などを把握する調査票を運用している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：公開情報（教育情報と財務情報）【資料 21】 http://www.adachi-gakuen.ed.jp/public.html

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F223310107076
学校名	愛知文教女子短期大学
設置者名	学校法人 足立学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		47人	45人	49人
内 訳	第Ⅰ区分	25人	24人	
	第Ⅱ区分	11人	13人	
	第Ⅲ区分	11人	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				49人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		—	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		—	—
計		11人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。